

## 急性アルコール中毒

急性アルコール中毒の年齢別による搬送者の傾向から20代・30代の搬送者が最も多くなっています。泥酔した人を1人にする、嘔吐によって窒息する可能性もあるので、周囲の人は必ず付き添うようにしましょう。

### 酒事故を防ぐための6ヶ条

- ・自分の適量を知るとともに、その日の体調に注意しましょう
- ・短時間に多量の飲酒（一気飲み）をすることはやめましょう
- ・お酒が飲めない体質の方は、周囲の人に伝えましょう
- ・無理に飲ませることはやめましょう
- ・酔っている人を1人にせず、必ず周りの人が付き添いましょう



### 急性アルコール中毒の症状

次のような症状があるときは、急性アルコール中毒の危険性があります。

- ・意識の混濁
- ・昏睡
- ・血圧の低下
- ・呼吸の抑制
- ・失禁

また、大いびきをかいて痛み刺激に反応しない、揺すって呼びかけても反応しない、体が冷たくなっている、倒れて口から泡を吐いている、呼吸状態が不安定などの兆候が現れた場合はすぐに救急車を呼びましょう。



### 急性アルコール中毒者への救護方法

もし周囲に急性アルコール中毒が疑われる人がいる場合、次のことを対応法として心がけましょう。

- ・絶対に1人にしない
- ・衣服をゆるめて楽にさせる
- ・体温低下を防ぐため、毛布などをかけて暖める
- ・吐物による窒息を防ぐため、横向きにする
- ・吐きそうになったら、抱き起こさずに横向きの状態で吐かせる



## ドクターカーが本格運行にあたり 医療費が利用者負担となります

本市と常陸大宮済生会病院は、平成30年5月14日から開始していたドクターカーの試行運行期間を経て、4月から本格的に運行が開始されました。

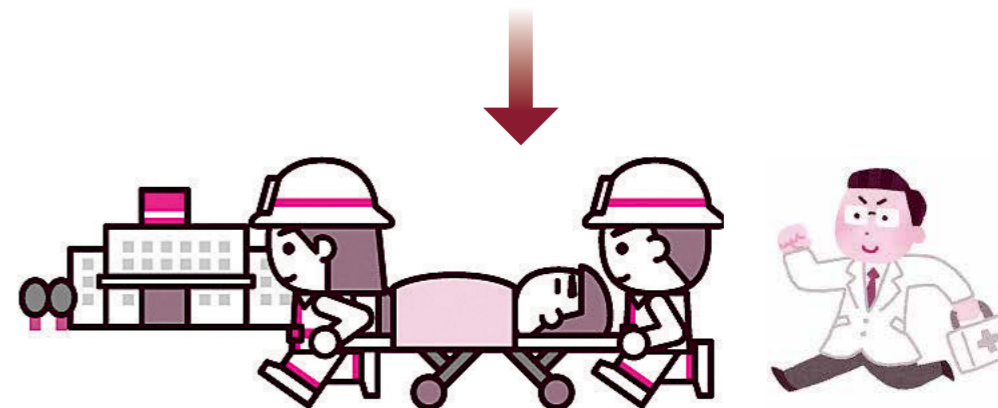
この2年間の試行運行中の出動にかかる医師往診料などの医療費は免除されていましたが、本格運行にともない利用者（傷病者）負担となりました。医師が現場に急行し大切な命を守るドクターカーについて、市民の皆さんには、さらなるご理解とご協力をお願いします。

### ドクターカーとは？

傷病者に一刻も早い高度な医療を提供するため、医療機関から救急の現場に医師や看護師といった医療チームを搬送する車両のことをドクターカーといいます。ドクターヘリとは違い、天候や離着陸の場所などの制限もなく、活動している現場に向かうことができます。



医師が現場に来ることで、医師が傷病者と接触し素早く適切な処置を提供することができます。



医師も救急車に同乗し、搬送中も高度な医療を提供しながら医療機関に搬送することができます。

**同乗した医師の診療（治療）により発生した医療費は利用者負担です。**

- ・受診料
- ・点滴、処置などを行った場合の費用など